

平成27年11月17日

各位

岩手大学農学部附属動物病院
助教選考委員会
委員長 佐藤 れえ子

附属動物病院助教候補者の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

岩手大学では男女雇用機会均等法及び岩手大学男女共同参画行動計画に基づき、男女共同参画に取り組んでおります。この度、農学部附属動物病院助教候補者（女性限定）を下記により公募することになりました。つきましては、貴部署に適切な候補者がおられましたら、応募くださるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。

なお、採用となった場合の所属は岩手大学男女共同参画推進室となりますが、実質的には農学部配置されることを申し添えます。

敬白

記

1. 公募する教員の職名及び人数
附属動物病院 助教 1名（女性限定）
2. 所属
男女共同参画推進室（実質的な配置は農学部）
3. 任期
5年
4. 給与
年俸制とし、年俸の12分の1の額を毎月支給する。
5. 分野の概要及び職務の内容
本学の臨床獣医学分野は、小動物臨床獣医学分野と産業動物獣医学分野から構成されており、今回の公募は小動物臨床獣医学分野の病院の助教を充足するものです。本学農学部附属動物病院助教の職務は動物病院の診療と運営であり、その他に共同獣医学科の臨床系教員とともに臨床獣医学教育を分担しております。主たる担当科目は、総合臨床実習、参加型臨床実習などです。
6. 選考方針
今回の公募は女性限定であり、次の諸項を満たす人物が望まれます。

- 1) 獣医師の資格を有し、小動物診療に従事できる者
- 2) 博士の学位を有し、動物病院における小動物臨床分野の教育と研究にも従事できる者
- 3) 人格・識見に優れている者

岩手大学は男女共同参画を推進しています。

今回の公募は、男女雇用機会均等法第8条の規定に基づき、女性に限定して募集するものです。

産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合には、選考の過程で考慮します。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等については岩手大学ホームページ (<http://www.iwate-u.ac.jp/gender/>) をご覧ください。

7. 提出書類

- 1) 履歴書 1部
(写真貼付、署名、捺印のあるもの。e-mail アドレスも記載してください)
- 2) 研究業績目録 1部
(様式は別紙又は岩手大学ホームページを参照ください)
- 3) 主要論文別刷 5編以内
- 4) 教育研究に対する抱負 1部 (1,000字程度)

8. 提出期限

平成27年12月8日(火) 必着

9. 採用予定日

平成28年2月1日

10. 提出先(問い合わせ先)

〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部附属動物病院

助教選考委員会

委員長 佐藤 れえ子

Tel & Fax: 019-621-6227

e-mail : reekos@iwate-u.ac.jp

応募書類は、封筒表に「教員応募書類在中」と朱書きし、上記提出先に簡易書留で郵送してください。

なお、応募書類は返却しません。

「研究業績」の作成について（2007. 4）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌*¹、(b) 紀要*²、(c) プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- *1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3：商業雑誌、資料等に記載する。
- *4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等に記載する。
- *5：最近5ヵ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- *6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- *7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
 1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- *8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- *10：Journal は略記する。
- *11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp. 10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A. B. Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp. 20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agriculture in Japan, "Agricultural Sciences"(Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp. 20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp. 101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp. 35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp. 10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.